

肺炎球菌ワクチンについて

ワクチン	予防できる血清型	特徴
プレベナー20 [®] (PCV20)	20 種類	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>長期的な免疫効果が期待できる</u> ・ 国内外で豊富な使用実績あり ・ 筋肉注射 ・ 65 歳以上の肺炎球菌性肺炎における血清型の約 43%、侵襲性肺炎球菌感染症（IPD）の原因となる血清型の 50～66%に対応しているとされる
キャップボックス [®] (PCV21)	21 種類	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>長期的な免疫効果が期待できる</u> ・ 成人向けに設計された新しいワクチン（2025 年 10 月より日本で使用可能） ・ 筋肉注射 ・ 65 歳以上の肺炎球菌性肺炎における血清型の約 72%、侵襲性肺炎球菌感染症（IPD）の原因となる血清型の約 80%に対応しているとされる
ニューモボックス [®] (PPSV23)	23 種類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 免疫記憶が弱く 5 年ごとに接種が必要 ・ 2026 年 3 月まで定期接種で使用されていた

参考文献

- ・ Joshi R, et al. Anticipated impact of novel adult-specific pneumococcal 22 conjugate vaccine. Vaccine. 2025; 53:127080. 33.
- ・ Maeda H, et al. Serotype-distribution among adults with community acquired pneumonia in Japan between 2019 and 2022: A multicenter observational study. Human Vaccin Immunother. 2025;21:2518847
- ・ 65 歳以上の成人に対する肺炎球菌ワクチン接種に関する考え方（第 8 版 2026 年 4 月 1 日改訂）一般社団法人日本呼吸器学会

★プレベナー20 とキャップボックスは結合型ワクチンと呼ばれ、免疫が付きやすい、免疫の記憶が残りやすいという特徴があり、長期的な免疫効果が期待できます。何年効果が続くかは今後のデータ蓄積でより明らかになっていきますが、少なくとも従来の多糖体ワクチン（ニューモボックス）より持続性が期待されています。

★選択時、当院では以下のような形でご説明しておりますが、どちらか迷われる場合はご相談ください。

- ・ プレベナー20 →実績が多いものを選びたい方、コストを抑えたい方
- ・ キャップボックス →慢性呼吸器疾患（喘息や COPD など）や心疾患、糖尿病など肺炎の重症化リスクが高い方、より広い血清型カバーを希望する方

※費用は、プレベナー20：12500 円、キャップボックス：15000 円（税込み）となります。

★過去にニューモボックスを接種済みの方は 1 年以上経っていれば、プレベナー20 やキャップボックスの接種が可能となります。ニューモボックスとは違う効果が見込め、高い免疫が期待されます。ニューモボックスの再接種は、現時点で日本呼吸器学会/日本感染症学会/日本ワクチン学会 合同委員会によると推奨されておりません。（特別な場合を除く）

★主な副反応→接種部位の痛み、腫れ、発赤（赤み）、発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛など。稀に重篤な副反応としてアナフィラキシーなども起こりえます。